

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 富士谷 昌典

2025年4月25日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 薬事委員会規定について承認

② 新規採用医薬品

オゼンピック皮下注 2mg (糖尿病内科)

薬効： 2型糖尿病治療剤 持続性 GLP-1 受容体作動薬
申請理由： 週1回投与によるアドヒアランス向上
採用中止薬剤： ビクトーザ皮下注 18mg

リジュセアミニ点眼液 0.025% (アイセンター) 【院外限定】

薬効： 近視進行抑制点眼剤
申請理由： 近視の進行抑制を効能・効果として承認された日本初の治療薬
その他： 4月21日発売予定 薬価基準未収載医薬品
採用中止薬剤： なし

③ 期限切れ薬品の採用継続について

以下薬剤について採用中止とする。

3月末期限切れ薬品名	代替採用薬品名
スルピリド錠 100 mg 「サワイ」	スルピリド錠 50 mg 「サワイ」

④ 後発品医薬品について

後発品が年に2回、発売されるため、継続的な後発品の変更が必要

先発名	薬価	後発名	薬価
アドナ錠 30mg	7.7	カルバゾクロムスルホン酸 Na 錠 30mg 「YD」	6.1
フルイトラン錠 2mg	10.1	トリクロルメチアジド錠 2mg 「NIG」	6.4
パントシン錠 100mg	6.1	パンテチン錠 100mg 「YD」	5.9
アルダクトン A 錠 25mg	13.1	スピロノラク톤錠 25mg 「日医工」	5.9
トレリーフOD錠 25mg	618.5	ゾニサミドOD錠 25 mg T R E 「SMPP」	275

⑤ アロチノロール塩酸塩錠 10 mg 「DSP」について

住友ファーマ株式会社より製造販売しているアロチノロール塩酸塩錠 10 mg 「DSP」より、発がんのリスクがあるとされるニトロソアミン化合物が検出されました。改善検討を実施し、N-ニトロソアロチノロールを許容摂取量に基づく限界値を下回る製剤を順次生産することで、本製品の供給を継続していきます。現時点ですでに市場に流通しているロットについては、海外ガイドラインに基づき設定した暫定管理値を下回ることから、処方の中止や変更等の措置は必要ないと判断しています。

⑥ ポリファーマシー対策に関する業務手順書について承認